

## 株式の状況

(2015年9月30日現在)

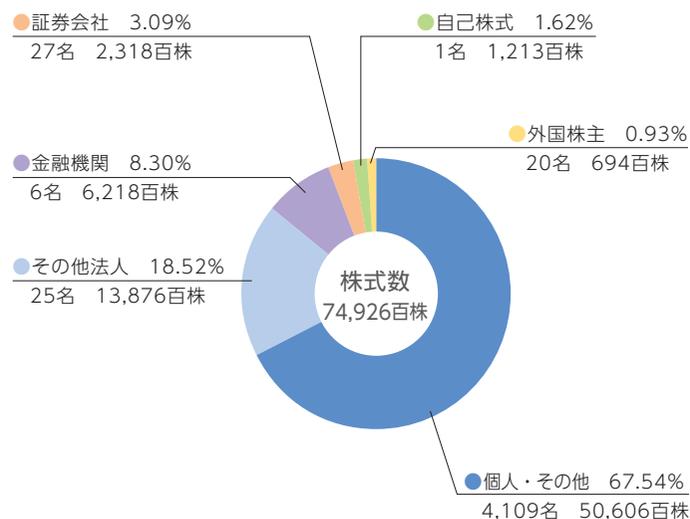
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,302株を含む)
株主数	4,188名 (前期末比268名減)

### 大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
若尾 富士男	2,075	2.81
若尾 磯男	1,651	2.24
株式会社みずほ銀行	1,500	2.03
若尾 亘	1,281	1.74
株式会社商工組合中央金庫	1,200	1.63
リバー従業員持株会	1,116	1.51
若尾 政男	1,100	1.49
持原 ひろ美	1,082	1.47

(注) 持株比率は、自己株式1,213百株を控除して計算しております。

### 所有者別株式数分布状況



## 株主メモ

**事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
**定時株主総会** 毎年6月開催  
**基準日** 定時株主総会 毎年3月31日  
 期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日  
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して  
 定めた日

**株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社

**事務取扱場所** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

**郵便物送付 / 電話お問い合わせ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)

**公告方法** 当社ホームページに掲載する。(電子公告)  
 <<http://www.river-ele.co.jp/>>  
 ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子  
 公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載  
 して行います。

**上場証券取引所** 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

### 未払い配当金のお支払い、支払い明細等の発行に関するお問い合わせ

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店

### 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

#### 証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先 お取引のある証券会社

#### 特別口座に登録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
お手続きお問い合わせ先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
特別口座での留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替を行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

# 第71期 中間株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日



# 期初に掲げた3年ぶりの通期黒字転換の必達を目指します

代表取締役社長 若尾富士男



当第2四半期連結累計期間の売上高は28億50百万円、営業利益は7百万円、経常利益は16百万円となり、実に9四半期ぶりに黒字の決算となりました。それぞれの前年同期比の増減について、またセグメント事業別の売上高・経常利益については下記の表をご覧ください。

## 2016年3月期第2四半期連結業績概要

科目	金額	前年同期比
売上高	28億50百万円	31.9%増
営業利益	7百万円	4億23百万円増
経常利益	16百万円	4億30百万円増
親会社株主に帰属する四半期純利益	9百万円	4億77百万円増

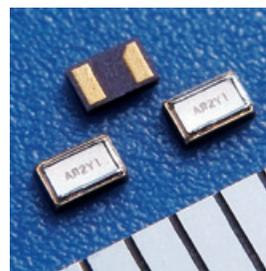
## セグメント事業別売上高・経常利益（連結）

	売上高	経常利益
水晶製品事業	27億93百万円 前年同期比31.4%	17百万円 前年同期は△413百万円
その他製品事業	57百万円 前年同期比64.8%	△0.24百万円 前年同期は△0.49百万円

当社は同業他社と比べても事業規模が小さいため、営業活動は販売先や販売商品を絞り込んだ集中戦略を取らざるを得ません。これはきめ細かいお客様のニーズに徹底してお応えする営業スタイルとしても定評があったわけですが、その一方で特定のお取引先や製品への売上依存度が高まる営業リスクを内包しており、ここ数年は、この流れが良くない方向に顕在化していました。企業体力の強化や新規取引先の開拓は、一朝一夕に為し得るものではなく、抜本的なリスク軽減策を見出すことが難しい状況が継続しておりますが、当第2四半期連結累計期間での黒字化を達成することができました。増収増益に至る主な要因については下記の表をご覧ください。

- ◆ 新製品『TFX-04』の市場拡大等、プロダクトミックスのバランス改善効果
- ◆ 歩留り及び稼働率の向上などによる原価の低減
- ◆ 円安による利益の押し上げ効果

当社が操業以来追求し続けた電子部品の小型化技術は、今や当社の大きな強みとなり、世界中のお客様から高い評価を受けています。当期はその強みを生かした世界最小の音叉型水晶振動子『TFX-04』を主力商品として収益力の強化に努めると共に、ブランド力の強化、販売チャネルの拡大を図り、持続的な成長を目指してまいります。



世界最小の音叉型水晶振動子『TFX-04』

今後は、他社の追従を許さない技術で新たな市場を創造する必要があり、ATカット水晶振動子『FCX-08』の

量産技術の確立は勿論、音叉型水晶振動子においては、次世代に向けた小型化の中で新技術の開発を進めております。これによって顧客へベスト・バリューを提供して行く体制へ持って行くと共に、課題であるスマートフォン・携帯電話に続く市場と新規取引先の開拓と販売体制の拡充を図ります。また、品質管理の最適化による信頼性の向上や顧客ニーズにマッチした特殊用途製品の開発などにも注力してまいります。

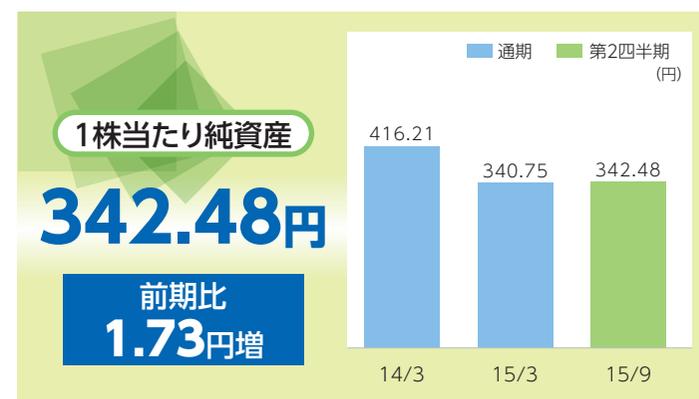
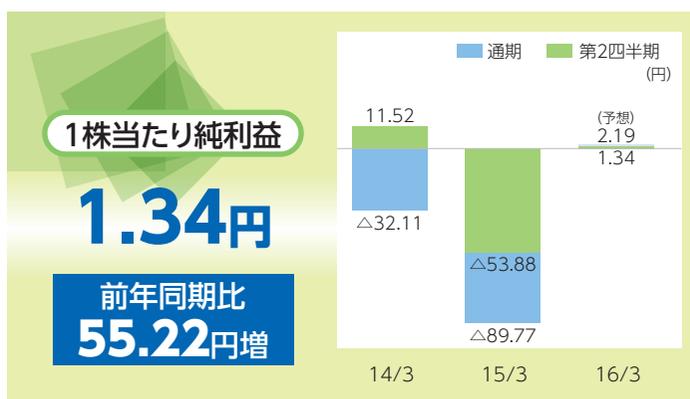
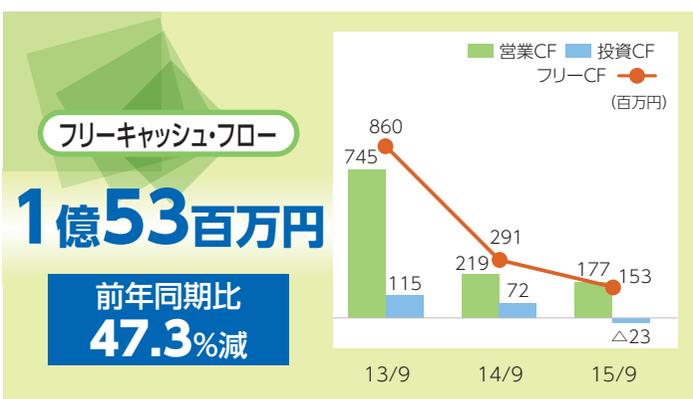
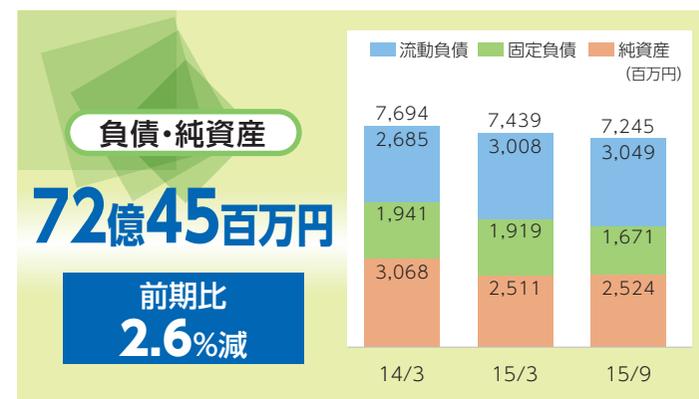
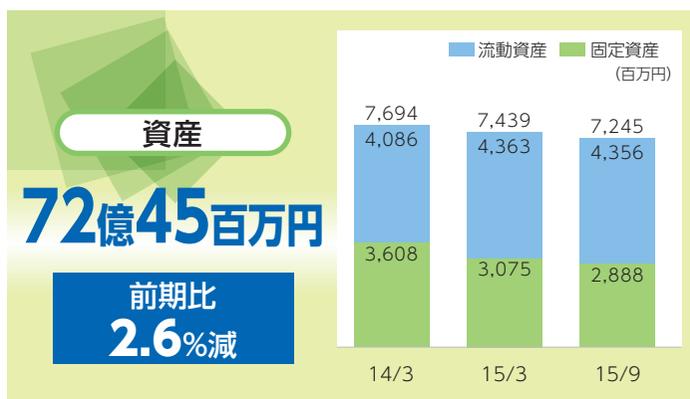
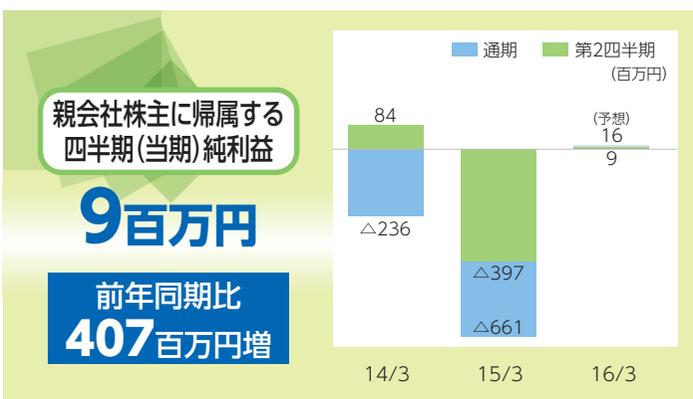
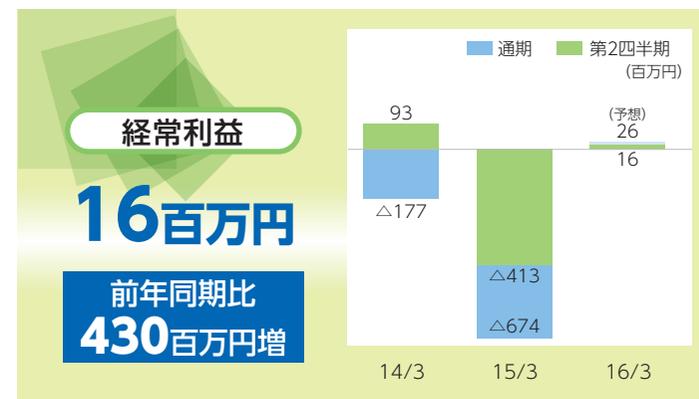
2016年3月期の連結業績見通しにつきましては、下記の表をご覧ください。なお、これらの業績見通しの前提として決算時の為替レートは120円を想定しております。

## 2016年3月期通期連結業績予想

科目	金額	前期比
売上高	54億85百万円	14.9%増
営業利益	32百万円	8億10百万円増
経常利益	26百万円	7億1百万円増
親会社株主に帰属する当期純利益	16百万円	6億77百万円増

当期は、ようやく長いトンネルを抜け出るところへ辿り着きましたが、これに甘んじることなく、中期経営計画で掲げるグローバルな競争力を持った経営体質への変革をさらに盤石なものにするためにも、業績を積み重ねていくことで経営の安定化を図ってまいります。また復配の早期実現に向けて鋭意努力する所存であります。

今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

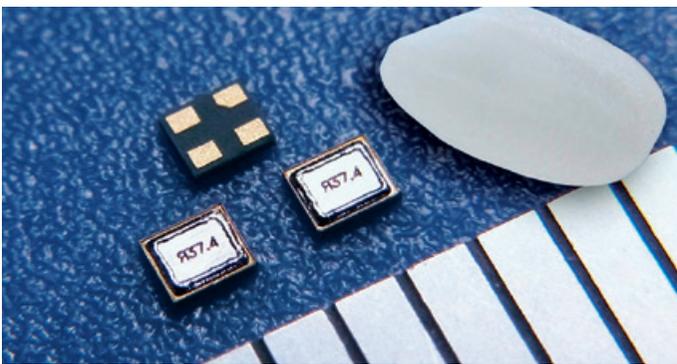


## 次世代を担う世界最小の水晶振動子『FCX-08』

従来品 (FCX-07L) に比べ、容積、実装面積約63%の世界最小サイズに小型・軽量化したATカット水晶振動子『FCX-08』は、小型部品供給における各社間競争で優位に立ち、業界で注目を集めています。今後は無線通信や車載向けだけではなく、デジタル補聴器などの超小型医療機器やフィットネスバンドなどのウェアラブル機器向けにも待望の新製品です。

### 製品特徴

- 世界最小の小型・軽量設計 1.2×1.0×0.33mm Max 1.4mg(世界最小の1210サイズ)
- セラミックと金属蓋を電子ビーム封止工法によりトップクラスの高信頼性を確保、さらに量産化にも対応
- 幅広い動作温度範囲が要求される車載向け認証基準のAEC-Q200に準拠
- 無鉛はんだ用リフローソルダリング可能
- RoHS指令対応・完全鉛フリー



お米一粒よりはるかに小さいATカット水晶振動子『FCX-08』

## ノーベル賞の受賞で沸く韮崎市で当社製品を展示しています

2015年のノーベル生理学・医学賞の受賞に輝いた大村智博士の出身地、韮崎市では受賞の報道を受け祝賀ムードに包まれました。韮崎市を訪れる観光客が増加する中、JR韮崎駅にある市民交流センター「ニコリ」の観光案内・地域物産コーナーでは、臨時のブースが設けられ、当社の製品を間近で見ることができます(期間12月25日まで)。



大村博士は40年来収集してきた絵画や陶磁器などを集めた韮崎大村美術館を自費で設立。「優れた美術品は個人だけで楽しむものではない」と市に寄付されました。「人のまねをしない、人のまねをしていたら人を超越することができない」と研究者としての独自性を大切にし、専門分野のみならず地域社会にも大きく貢献されました。



韮崎大村美術館。隣には天然掛け流しの湯「白山温泉」もあり日帰り入浴を楽しむこともできます。

## 会社概要

(2015年9月30日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	94名		
役員	代表取締役社長	若尾	富士男
	常務取締役	三枝	康孝
	取締役	萩原	義久
	取締役	高保	譲治
	社外取締役	若尾	敦雄
	常勤監査役	古屋	延行
	社外監査役	越智	大藏
	社外監査役	野村	裕

### 事業所

本社	〒407-8502 山梨県韮崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F

### リバーグループ (子会社の状況)

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 19,200	100	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリンギット 25,400	100	電子部品の製造
西安大河晶振科技有限公司	千元 38,255	100	電子部品の製造・販売